

株式会社プレイケア

東京都港区

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

R65 市場に特化した事業により、高齢者の笑顔の創出と地域の方々の活躍の場の提供を実現し、社会参加寿命の延伸に貢献

- 高齢者施設におけるアクティビティ・レクリエーション人材の育成、及びコミュニティ教室事業における講師等の地域からの採用
- 地域の遊休空間・時間等の活用を通じて、高齢化社会の課題解決と地域経済の活性化に寄与
- 健康寿命延伸のためのシニアコンテンツ開発を実施

企業基本情報

所在地	東京都港区元赤坂 1-7-10 元赤坂ビル 9 階
電話 / FAX	03-5413-7866 / 03-6368-5673
URL	http://www.playcare.jp/
代表者	代表取締役社長 川崎 陽一
設立	2007 年
資本金	1,000 万円
従業員数	22 人



会社概要

バンダイの社内ベンチャー制度から立ち上げた会社で、高齢者が遊びに困っていることから、今後成長が期待できる高齢者（R65）市場に特化し、プレイケア（遊びの気づき）を通じて高齢者の笑顔を創造する事業（レクリエーション人材育成、コンサルティング、コミュニティ教室）を展開。地域の子育て層、シニア層をコミュニティ教室の講師やスタッフとして積極的に採用し、活躍の場を提供。また、企業のコンサルティングから、地域とマッチングし、コーディネートするビジネスモデルを確立。

創業者の想い

“笑顔の創造、お手伝いします”

～原点はボランティア活動から～

創業の原点はボランティア活動から。バンダイの社内ベンチャー制度から立ち上げた会社で、高齢者が遊びに困っていることから、今後成長が期待できる高齢者（R65）市場に特化し、プレイケア（遊びの気づき）を通じて高齢者の笑顔を創造する事業（レクリエーション人材育成、コンサルティング、コミュニティ教室）を展開。地域の子育て層、シニア層をコミュニティ教室の講師やスタッフとして積極的に採用し、活躍の場を提供。また、企業のコンサルティングから、地域とマッチングし、コーディネートするビジネスモデルを確立。

～社会的課題のお手伝いへ～

創業の原点はボランティア活動から。バンダイの社内ベンチャー制度から立ち上げた会社で、高齢者が遊びに困っていることから、今後成長が期待できる高齢者（R65）市場に特化し、プレイケア（遊びの気づき）を通じて高齢者の笑顔を創造する事業（レクリエーション人材育成、コンサルティング、コミュニティ教室）を展開。地域の子育て層、シニア層をコミュニティ教室の講師やスタッフとして積極的に採用し、活躍の場を提供。また、企業のコンサルティングから、地域とマッチングし、コーディネートするビジネスモデルを確立。

創業者の想い

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

担い手の発掘・養成

介護現場ではレクリエーションのノウハウが不足しているため、全国の高齢者施設等にて研修を行っており、介護現場における人材不足の解決に取り組んでいる（プレイケアリーダーの養成）。また、地域の事業者と連携したコミュニティ教室（健康講座等）では、講師に地域の人材（特に子育て層、シニアなど）を募集・採用し、趣味や特技を活かした講座を開く。運営スタッフも地域採用するなど、地域の社会参加の場を提供している。（地域包括余暇センター＝プレイケアセンター）



レクリエーション風景

通い場の創造

地域の高齢者施設、薬局、クリニック等と連携し、それらの遊休空間・時間を活用したコミュニティ教室（健康講座等）を展開している。例えば、特別養護老人ホーム内の遊休空間や薬局のアイドルタイムやクリニックの定休日などの遊休時間を活用し、講座を通して地域の高齢者の「健康」と「交流」の場を提供しているとともに、高齢者の集客に結びつけ地域経済の活性化に寄与している。また、自治体と連携し、口腔ケアや健康のための食事方法など介護予防や地域支援事業も行っている。



介護研修の現場

様々な企業と健康寿命延命のためのシニアコンテンツ開発を実施

シニア高齢者市場に参入する企業や商品・サービス開発を行う企業のコンサルティングを実施。プレイケアセンターを利用するメンバーに定量・定性調査を実施し、本場にニーズにあった商品・サービスを開発している。開発に関わるシニア高齢者自身も高い関心を示し、社会参加の一環として熱心な意見を収集している。開発のポイントは、同社の商品・サービス×運動、栄養、口腔、認知機能の改善や社会的課題の解決（独居高齢者・空き家問題・買い物難民・ひきこもり他）等をテーマに創造するソーシャルマーケティングを実践。



シニア高齢者サービス